

『授業連携報告書』

学校名 四日市市立内部中学校

授業のテーマ

宇宙移住計画 食物連鎖を考えて生き物を連れて行こう！

目標(授業連携をした目的等)

惑星への移住を計画し、移住後も食物連鎖で生き物を持続できる環境の大切さに気付くことができる。

| | | | | | | | |
|------|-------|---------------|-----|-----|----|-----|---|
| 実施対象 | 学年 | 中3 | 5 | クラス | 合計 | 176 | 名 |
| 授業科目 | 理科 | 科目「その他」の場合記入) | | | | | |
| 単元 | 宇宙を観る | | 授業日 | 12 | 月 | 16 | 日 |

授業連携の前後の授業内容について

前 太陽や惑星の授業を行い、地球で生物が生きていける環境と、他の惑星では生物が生きていけない環境の違いを考えさせた。

後 食物連鎖の単元で、改めて生物が持続できる環境について考えさせる。宇宙の単元の終わりに月に旅行する場合、何がどれだけ必要なのか考えさせる。

| 時間配分 | 学習内容・活動 | 児童・生徒の様子 | 学校(先生)の役割・活動 |
|---------------|---|--|--|
| 導入 10 分 | 開講の挨拶・自己紹介・本日の流れ、惑星移住する理由、連れて行くものの選び方の説明 | 活動内容を把握するために話をしっかり聞いていた。 | 講師の先生の紹介、授業の目的を話した。 |
| 展開 35 分 | (グループワーク) どの生物を連れて行くかを話し合う (グループワーク) 目指す惑星に到着。記念すべき日の夕飯のメニューを決める。連れてきた生物を使って何が作れるのかを話し合う。 各班で夕食のメニューの発表 | 生徒は食物連鎖を意識し、連れて行った生物が絶滅しないように話し合いをしていた。 生き残った生物でつくることができる様々なメニューを考え発表をしていた。 | ワークシート、生き物カードを配布した。 机間指導で指定された種類の生物が入っていなければアドバイスした。 発表の進行をした。 |
| まとめ 5 分 | まとめ、終わりの挨拶、質疑応答 | 質問では、「設定でできたような星は現在ありますか。」という質問がでた。 | 質問の進行をした。 最後のまとめとお礼で授業を終えた。 |

授業連携の感想・メモ

宇宙で持続可能な社会をつくるためには、生産者、消費者、分解者のどれが欠けても食物連鎖が成り立たなくなり、生物を食べつくしてしまうことに気付くことができた。今後の授業等でそのような視点で食物連鎖を考えていくことが大切だと生徒に考えさせることができた。

授業連携アンケート

| | |
|---|----|
| ①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？ | はい |
| ②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？ | はい |
| ※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。 グループワークでの意見交流を積極的にする姿勢が見られるようになった。 | |
| ※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。 | |